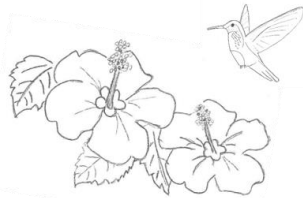




絵本「ハチドリのしずく」から…

森が燃えていました。
森の生き物たちは、われ先にと逃げていきました。でも、クリキンディという名のハチドリだけは、いったりきたり、くちばしで、水のしずくを一滴ずつ運んで、火の上に落としていきます。



花の蜜を吸うハチドリ

動物たちが、それを見て「そんなことをして、いったい何になるんだ」と、言って笑います。

クリキンディは、こう答えました。「私は、私に出来ることをしているだけ」と答えました……。「ハチドリのしずく、いま、私の出来ること」

辻信一／監修 光文社／出版

新型コロナウイルス感染症の拡大にともなって全国に緊急事態宣言が出されました。

今回のような大きな問題を前にして「このままではよくない」と思っても自分の微力さを感じながら「自分だけの力で何が出来るのか？」

「自分だったらどうするのか？」

「ただ遠くから眺めるのか？」

「私には関係のないことと思おうとするのか？」と人それぞれ様々な考えがでてきます。

体の小さなハチドリからの学びは「やるべきことはやる」という強い意志です。「今、自分が出来ること」「しなければならぬこと」を確実にやる人というのは、意外と少ないものです。しかし、1人1人の少しの努力がどんな効果をもたらすかが、わからなくても、何かしないと結果は出てきません。目の前の大切なことを1つ1つやることが出来なければ、何も始まりません。

もしかしたら、ついつい大きな成果や自分の事だけを求め、他人ばかりを批判しがちになり、大切なことを忘れてしまっているかもしれません。

今、自分たちができること、この臨時休業中だからこそ自分自身の行動を考えていきたいものです。

ハチドリ：鳥の中で最も小さい体で、体重は2～20g程度である。ハチドリの世界最小は、全長6cm、体重2g弱しかないものがある。「ブンブン」とハチと同様の羽音を立てるため、ハチドリと名付けられた。出典：Wikipedia

新年度がスタートしましたが…

新年度、吾田中学校は、新入生133名を迎え、全校生徒391名でスタートしました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新任式、始業式、入学式を縮小、そして学校生活まで思うようにいかない中でのスタートとなりました。保護者の皆様には、感染症対策へのご理解とご協力をいただいておりますことを感謝申し上げます。

今後どのようになるかわからない、先行き不安な状況の中ではありますが、生徒の健全育成を図るためには、学校、家庭、地域の連携が重要になります。今年度も「チーム吾田」で皆様のご協力・ご支援を1年間よろしくお願いいたします。

新任式・始業式は放送で…

4/7(火)に新任式と始業式を放送で、行いました。新任式では9名のスライド写真による新任の先生方の紹介とそれぞれの挨拶を行った後、代表生徒が心温まる歓迎の言葉を述べてくれました。また、新任式の後、始業式では、新2年生、新3年生、生徒会の各代表の生徒が「新年度の抱負発表」ということで、学習、部活動、生徒会活動、学校生活等々で、この1年間、頑張っていこうという思いを述べてくれました。

- ・2年生：永山悠次朗くん
学年全体で協力してくと同時に、自分のすべきことを自分で考え行動できるように悔いなく胸を張って1年間を過ごしたい。
- ・3年生：井奈マリヤさん
学習時間を増やし、学校行事にも全力で取り組みたい。そのために最上級学年としてリーダーシップを発揮し、行事の成功と部活動で結果を残していきたい。
- ・生徒会：吉田楽翔くん



最上級生として、また吾田中学校の顔として、学習、部活動、学校生活自覚をもって行動していきたい。

校長先生からは、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況をふまえて、「今は未来につながっている日常生活を大事に危機的なきに人間性が試される。偏見、暴力、人権侵害など、ここを頑張ると人間性を高めることができる」ということを強く訴えられました。

(裏面へ)

各部の先生方からは次のことをこの1年間、意識して取り組むように話がありました。

- 学習面：時間を意識する。忘れ物をしない。
- 生活面：「よむ」「きく」「そろえる」を意識する。最近、SNSの問題が社会問題になりつつあるので、スマホ、ネットトラブルに巻き込まれないようにする。今後も命を守る行動を続ける。
- 保健面：体調管理に気を付ける。（毎日の検温と健康チェックカードの提出）新型コロナウイルス感染症については正しい知識を持って行動する。

入学式は縮小で 4 / 9 (木)

入学式は新入生と保護者だけの参加で、内容を縮小しての実施でした。



新入生による初々しい点呼が行われた後に、校長先生から中学生になって意識してほ

しいこととして「命を大切にすること」「自分自身を自分で磨くこと」について式辞を送られました。

次に、在校生代表（繁永悠叶くん 谷口亜弥さん）による歓迎の言葉を日本語と英語で、吾田中学校の紹介をするとともに、勉強でも部活動でも日々の積み重ねが大事であるとのアドバイスを送りました。

最後に、新入生代表（小倉泰紳くん）が、吾田中の生徒として「勉強」と「部活動」を頑張っ、吾田中学校の伝統を受け継ぐとともに自分たちの伝統を作っていけるよう力を発揮していきたいと誓いの言葉を述べました。



日本語と英語による歓迎の言葉



新入生代表による誓いの言葉

コロナに負けるな 4 / 24 (金)

日本国内や海外において、新型コロナウイルス感染拡大防止や対応に向けて全力で取り組んでいます。しかし、その一方で感染者やその関係者、感染が広がっている地域に住んでいる人々に対する誤った考え「偏見」が生まれているのも事実です。

国内でも偏見による誹謗、中傷、暴言、人権侵害、差別事件が起きています、今のような危機的状



況の時こそ、1人1人の人権を尊重し、私たち自身の人間性を高めるために、吾田中学校で次のことに取り組みました。

日本国内で300人、世界で15万人を超える方々（4 / 26 現在）が、新型コロナウイルス感染症によって亡くなりました。亡くなられた方への冥福を祈って1分間の黙祷を捧げました。



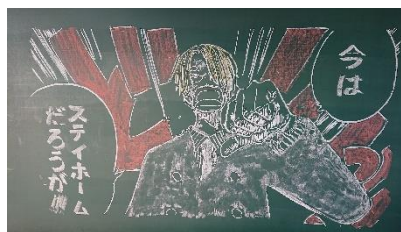
また、新型コロナウイルス感染し病気と闘っている人、感染した人を助けるために日夜働いている医療従事者の方、それを支える多くの方々があります。更に、生徒たちも感染症収束に向けて、毎日の生活の制限や自粛に耐えています。そんな頑張っている方々へ、互いに励まし合う応援の気持ちを込めて、拍手を送りました。

応援メッセージ

これは、3年生の学級黒板に先生から生徒へ贈ったメッセージです。



臨時休業で自粛している生徒たちが、少しでも元気を出して、頑張ってくれるといいなと思います。



今回の学校だよりは吾田中学校ホームページにも掲載しています。ご覧ください。